

令和4年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

| | |
|----------|--|
| 施設名称 | 大阪市立浪速スポーツセンター |
| 施設所管課・担当 | 経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当 |
| 条例上の設置目的 | スポーツセンターは、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。 |
| 業務の概要 | 地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。 |
| 成果指標 | アンケート調査による利用者満足度数値 |
| 数値目標 | 利用者満足度80%以上 |
| 指定管理者名 | 明治スポーツ・セントラルスポーツグループ |
| 指定期間 | 平成31年4月1日～令和6年3月31日 |
| 評価対象期間 | 令和4年4月1日～令和5年3月31日 |

2 管理運営の成果・実績

| | | |
|------|------|--------|
| 成果指標 | 利用者数 | 利用者満足度 |
| 数値目標 | | 80% |
| 年度実績 | | 89.3% |
| 達成率 | | 111.6% |

利用状況（第1体育場）

| | | | |
|------|-------|-------|-------|
| | 当年度 | 前年度 | 前年度比 |
| 利用人数 | | | |
| 稼働率 | 99.0% | 74.4% | 24.6% |

利用状況（第2体育場）

| | | | |
|------|-------|-------|-------|
| | 当年度 | 前年度 | 前年度比 |
| 利用人数 | | | |
| 稼働率 | 98.0% | 80.4% | 17.6% |

利用状況（多目的1）

| | | | |
|------|-------|-------|------|
| | 当年度 | 前年度 | 前年度比 |
| 利用人数 | | | |
| 稼働率 | 95.1% | 86.1% | 9.0% |

利用状況（多目的2・会議室）

| | | | |
|------|-------|-------|-------|
| | 当年度 | 前年度 | 前年度比 |
| 利用人数 | | | |
| 稼働率 | 92.9% | 77.2% | 15.7% |

利用状況（多目的3・会議室）

| | | | |
|------|-----|-----|------|
| | 当年度 | 前年度 | 前年度比 |
| 利用人数 | | | |
| 稼働率 | | | |

3 収支状況

| 収入 | | 当年度 | 前年度 | 差異(実績-計画) | 主な要因 |
|-------------------|----|------------|------------|-------------|--|
| 業務代行料 | 実績 | 45,148,357 | 74,313,188 | 1,800,957 | 新型コロナウイルス感染症の影響に対する営業補填を含む為です。 |
| | 計画 | 43,347,400 | 43,347,400 | | |
| 利用料金収入 | 実績 | 8,914,860 | 9,342,880 | -2,255,490 | 自粛ムードの影響により減収です。ただ感染対策のもと団体利用の復活や初心者向けバスケット練習会を開設し利用者は増加傾向にあります。大会など開催して、夜間などへの集客をはかりました。 |
| | 計画 | 11,170,350 | 11,170,350 | | |
| その他収入 (自主事業収入) | 実績 | 22,887,237 | 12,411,618 | -12,774,479 | コロナの影響により目標人数には届かず減収となりましたが、子供向け体操教室、英会話教室などをお試し教室を開催。また各教室での体験も積極的にアナウンスして納得後の入会を進める事により、入会者は増加傾向にあります。 |
| | 計画 | 35,661,716 | 35,661,716 | | |
| 合計 | 実績 | 76,950,454 | 96,067,686 | -13,229,012 | |
| | 計画 | 90,179,466 | 90,179,466 | | |

令和4年度 指定管理者年度評価シート

| 支出 | | 当年度 | 前年度 | 差異(実績-計画) | 主な要因 |
|--------------------|----|-------------|------------|------------|------------------------------------|
| 人件費 | 実績 | 23,107,848 | 19,725,008 | 639,028 | コロナ感染防止策に伴う人員の増員分等が主な要因となります。 |
| | 計画 | 22,468,820 | 20,451,200 | | |
| 物件費 | 実績 | 79,725,098 | 58,397,320 | 25,556,813 | 使用量制御は出来たものの、料金制御までは至りませんでした。 |
| | 計画 | 54,168,285 | 56,185,905 | | |
| その他事業費 (自主事業支出) | 実績 | 15,933,905 | 11,514,614 | 2,391,544 | 教室の復活に向けた対応等による講師確保や対応人員確保による超過です。 |
| | 計画 | 13,542,361 | 13,542,361 | | |
| 合計 | 実績 | 118,766,851 | 89,636,942 | 28,587,385 | |
| | 計画 | 90,179,466 | 90,179,466 | | |

4 管理運営状況の評価(1次評価)

(1) 成果指標の達成

| 評価項目 | 達成率 | 評価 | 特記事項 |
|--------|--------|----|------|
| 利用者満足度 | 111.6% | A | |
| | | | |

(2) 市費の縮減

| 市費の縮減に係る取組状況 | 評価 | 特記事項 |
|--|----|------|
| <ul style="list-style-type: none"> 設備管理業務は引き続き自社スタッフが行うことにより保守管理費、修繕費の抑制を行った。 物品購入は全社一括システムを利用する事により、価格交渉された商品を迅速に確保でき消耗品費を抑制した。 空調の運転を手動に変更し、細やかな運転調整を行った。 スタッフ間の情報共有はグループウェアを積極的に利用する事により、①ペーパーレスを推進し経費削減②打合せの効率化を進め労務費制御に繋げた。 | B | |

(3) 管理運営の履行状況

| 評価項目 | 評価 | 特記事項 |
|---------------------|----|------|
| 施設の設置目的の達成及びサービスの向上 | | |
| 施設の管理運営 | B | |
| 事業計画の実施状況 | B | |
| 施設の有効利用 | B | |
| 社会的責任・市の施策との整合性 | B | |

5 利用者ニーズ・満足度等

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 多数の教室設定がある、館内がきれい、スタッフの対応が良い、トイレがきれい、コロナ感染対策をしっかりと実施している価格設定が安価である。 コロナ禍で制限されたものを戻しては欲しい→状況をみながら順対応 スタジオプログラムの内容見直し、本数増加してほしい→担当、集客等をみながら順次対応 |
|---|

6 外部専門家意見

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍収束に伴い、全体的に利用者は増加傾向であった。また、優先利用による団体利用も復調傾向であった。バスケットボールの講習会から大会開催といった運動性のある取り組みは利用者の施設への愛着を高める上でも評価できる。 前年度に指摘した会議室の利用率増加については、活用文科系の自主事業(個別塾)の枠を増設するなどの対応をしている。指摘事項を踏まえ改善をしている姿勢は評価できる。 稼働率が前年比増加しているものの、利用料金収入は低下しているため、自主事業において効果的な広報及び周知に努め、参加者の増加を図らねばならない。 グループ全体で満足度も高く、丁寧に運営している印象である。 収支に関しては、光熱費の増額という要因はあるものの赤字は極力避けることができるよう次年度は取り組んでいただきたい。 |
|--|

7 最終評価

| 評価項目 | 評価 | 所見 |
|---------------------|----|----|
| 成果指標の達成 | A | |
| 市費の縮減 | B | |
| 管理運営の履行状況 | | |
| 施設の設置目的の達成及びサービスの向上 | B | |
| 施設の管理運営 | | |
| 事業計画の実施状況 | | |
| 施設の有効利用 | | |
| 社会的責任・市の施策との整合性 | | |
| 総合評価 | B | |

令和4年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

| | |
|----------|--|
| 施設名称 | 大阪市立浪速屋内プール |
| 施設所管課・担当 | 経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当 |
| 条例上の設置目的 | プールは、水泳等の場を提供することにより、市民の健康を増進するとともに、水泳等の普及振興に寄与することを目的とする。 |
| 業務の概要 | 地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。 |
| 成果指標 | アンケート調査による利用者満足度数値 |
| 数値目標 | 利用者満足度80%以上 |
| 指定管理者名 | 明治スポーツ・セントラルスポーツグループ |
| 指定期間 | 平成31年4月1日～令和6年3月31日 |
| 評価対象期間 | 令和4年4月1日～令和5年3月31日 |

2 管理運営の成果・実績（屋内プール）

| | | |
|------|-------|---------|
| 成果指標 | 利用者人数 | 利用者満足度 |
| 数値目標 | | 80% |
| 年度実績 | | 97.6% |
| 達成率 | | 122.00% |

2 管理運営の成果・実績（トレーニング室）

| | | |
|------|-------|--------|
| 成果指標 | 利用者人数 | 利用者満足度 |
| 数値目標 | | 80% |
| 年度実績 | | 97.6% |
| 達成率 | | 122.0% |

2 管理運営の成果・実績（アイススケート）

| | | |
|------|-------|--------|
| 成果指標 | 利用者人数 | 利用者満足度 |
| 数値目標 | | 80% |
| 年度実績 | | 96.8% |
| 達成率 | | 121.0% |

利用状況（屋内プール）

| | | | |
|------|--------|--------|--------|
| | 当年度 | 前年度 | 前年度比 |
| 利用人数 | 54,416 | 22,669 | 31,747 |
| 稼働率 | | | |

利用状況（屋外プール）

| | | | |
|------|-----|-----|------|
| | 当年度 | 前年度 | 前年度比 |
| 利用人数 | 0 | 0 | 0 |
| 稼働率 | | | |

利用状況（トレーニング室）

| | | | |
|------|--------|--------|-------|
| | 当年度 | 前年度 | 前年度比 |
| 利用人数 | 23,157 | 16,566 | 6,591 |
| 稼働率 | | | |

利用状況（アイススケート）

| | | | |
|------|---------|--------|--------|
| | 当年度 | 前年度 | 前年度比 |
| 利用人数 | 120,213 | 88,415 | 31,798 |
| 稼働率 | | | |

3 収支状況

| 収入 | | 当年度 | 前年度 | 差異（実績－計画） | 主な要因 |
|-------------------|----|-------------|-------------|-------------|---|
| 業務代行料 | 実績 | 36,574,015 | 79,551,282 | 3,471,415 | 新型コロナウイルス感染症の影響に対する営業補填を含む為です。 |
| | 計画 | 33,102,600 | 33,102,600 | | |
| 利用料金収入 | 実績 | 133,347,840 | 95,220,142 | -52,539,310 | 目標数値にはまだ未達のため減収となりますが、年間通して全アイテム利用可能となり、前年対比では大幅に増加傾向でした。また感染対策の安心感により高齢者のジム利用者も増加しています。 |
| | 計画 | 185,887,150 | 185,887,150 | | |
| その他収入 （自主事業収入） | 実績 | 156,106,044 | 81,329,031 | -10,167,542 | 前年比では大幅に差異数は増加していますが目標数値にはまだ未達のため減収です。キャンセル待ちの解消として日曜日午後のクラスを増設しました。また気軽に体験出来る体験会を複数開催して納得しての入会を促進した事により稼働率の向上が認められました。 |
| | 計画 | 166,273,586 | 166,273,586 | | |
| 合計 | 実績 | 326,027,899 | 256,100,455 | -59,235,437 | |
| | 計画 | 385,263,336 | 385,263,336 | | |

| 支出 | | 当年度 | 前年度 | 差異（実績－計画） | 主な要因 |
|--------------------|----|-------------|-------------|--------------|---|
| 人件費 | 実績 | 104,333,256 | 83,727,207 | 35,536,240 | コロナ感染防止策に伴う人員の増員分等が主な要因となります。指導員のクロス勤務化推進もあり研修費等も要因の一つです。 |
| | 計画 | 68,797,016 | 65,717,600 | | |
| 物件費 | 実績 | 126,184,083 | 150,327,539 | -98,193,644 | 保温シートなど水道光熱費の制御策及び業務内製化による減額。 |
| | 計画 | 224,377,727 | 227,456,843 | | |
| その他事業費 （自主事業支出） | 実績 | 53,694,163 | 21,525,111 | -38,394,730 | 会員数不足により、予定より人員制御がされている事が主たる要因となります。 |
| | 計画 | 92,088,893 | 92,088,893 | | |
| 合計 | 実績 | 284,211,502 | 255,579,857 | -101,052,134 | |
| | 計画 | 385,263,636 | 385,263,336 | | |

令和4年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

(1) 成果指標の達成

| 評価項目 | 達成率 | 評価 | 特記事項 |
|-----------------|--------|----|------|
| 利用者満足度（プール） | 122.0% | S | |
| 利用者満足度（アイススケート） | 121.0% | S | |

(2) 市費の縮減

| 市費の縮減に係る取組状況 | 評価 | 特記事項 |
|---|----|----------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・設備管理業務は引き続き自社スタッフが行うことにより保守管理費、修繕費の抑制を行った。 ・物品購入は全社一括システムを利用する事により、価格交渉された商品を迅速に確保でき消耗品費を抑制した。 ・空調の運転を手動に変更し、細やかな運転調整を行った。 ・スタッフ間の情報共有はグループウェアを積極的に利用する事により、①ペーパーレスを推進し経費削減②打合せの効率化を進め労務費制御に繋げた。 ・ガラス面の多いプールサイドに保温性の高いシートを設置してエネルギーの使用を抑制した。 ・ジャグジー等には閉館時に保温マットを設置し水温の下降を最小限に抑えた。 | A | 保温シートを設置するなど、積極的に工夫している様子がうかがえる。 |

(3) 管理運営の履行状況

| 評価項目 | 評価 | 特記事項 |
|---------------------|----|------|
| 施設の設置目的の達成及びサービスの向上 | | |
| 施設の管理運営 | B | |
| 事業計画の実施状況 | B | |
| 施設の有効利用 | B | |
| 社会的責任・市の施策との整合性 | B | |

5 利用者ニーズ・満足度等

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・多数の教室設定がある、館内がきれい、スタッフの対応が良い、トイレがきれい、コロナ感染対策をしっかりと実施している価格設定が安価である。 ・スタジオプログラムの内容見直し、本数増加してほしい→担当、集客等をみながら順次対応 ・スケート等における写真を勝手に撮影されている気がするので何とかして欲しいの要望→掲示物設置 ・スイミングスクール後の更衣室が混雑→スタッフの更衣室巡回・プール退水の時間差を設けた ・スイミングスクールキャンセルにおける土、日曜日を中心に多数の入会要望→日曜日12：10～13：10/13：15～14：15のコースを新設し、キャンセル待ちを解消 |
|--|

6 外部専門家意見

| |
|--|
| <p>コロナ禍収束に伴い、全体的に利用者は増加傾向であり、利用料金収入・事業収入ともに目標値には及ばなかったものの、前年比から大幅増となった。</p> <p>プールでは前年度では日曜の午前中にレッスンを増やし好評であったが、今年度はさらに日曜午後のレッスンクラスの増設などによりキャンセル待ちの解消に努めており、ニーズに合わせてクラスの増設することにより、利用者満足度と収益的にアップすることができている。前年度からより工夫を凝らしている点は非常に評価できる。また、高齢者の利用が増えていることも、素晴らしい。</p> <p>アイススケートでも前年度より取り組んでいた、初心者ファーストを目的とした”コーチの完全自社スタッフ化による運営方針の徹底と人数コントロール”により、順調に結果が出てきており教室の拡充に成功している。教室事業がほぼ定員となっている。</p> <p>プール・アイススケート場ともにコロナ化であっても長期的に計画された戦略が効果が現れている。今後も利用者目線に立った運営を続けていただきたい。</p> <p>光熱費の増加により収支はマイナスであったものの、光熱費の支出を抑える工夫もしており、次年度以降も非常に期待が持てる取り組みである。利用率や満足度、収益面等、全体的に高いレベルで運営されている。</p> |
|--|

7 最終評価

| 評価項目 | 評価 | 所見 |
|---------------------|----|----|
| 成果指標の達成 | S | |
| 市費の縮減 | A | |
| 管理運営の履行状況 | | |
| 施設の設置目的の達成及びサービスの向上 | B | |
| 施設の管理運営 | | |
| 事業計画の実施状況 | | |
| 施設の有効利用 | | |
| 社会的責任・市の施策との整合性 | | |
| 総合評価 | B | |